

### ■文化財保存交流セミナーⅢ

場所：1F ミュージアムホール 定員：280名（入場無料）

（主催：九州国立博物館 共催：久留米大学比較文化研究所）

## 日本の宝を守る、文化を伝える

8月21日（日） 13:30～15:00

# 「和本リテラシーのすすめ」

## 中野 三敏（九州大学名誉教授）

昭和10年（1935）、佐賀県武雄市の生まれ。

昭和39年（1964）早稲田大学大学院日本文学研究科修了。

九州大学・福岡大学を経て、現職なし。九州大学名誉教授。

平成10年（1998）紫綬褒章受章。

平成22年（2010）11月、文化功労者に選ばれる。

『和本の海へ 豊饒の江戸文化』（角川選書、2009）、『写楽 江戸人としての実像』（中公新書、2007）、『十八世紀の江戸文芸』（岩波書店、1999）等著書多数。

近代になってから、江戸時代は「封建的」「前近代的」といったレッテルを貼られ、その文化も社会も否定的にしか語られませんでした。近頃は漸く江戸文化が見直されるようになったとはいえ、それは極めて表面的な評価で、未だに江戸時代を誤解している人が多いようです。そのような誤解を解くには、「江戸に出かけて江戸を見る」必要があります。

しかし現代人が江戸に出かけようにも、その基本的な道、すなわち江戸時代の基礎資料である和本を誰もか読めない、すなわちリテラシー（読み解き能力）がないのです。これは教育上の大問題です。過去との断絶を避けるために、「和本リテラシー」の回復を声を大にして叫びましょう。

